

大越ミニバスメンバー2人が、県選抜で活躍

大越ミニバスケットボールスポーツ少年団(女子)所属の佐藤杏莉さんと白石彩乃さん(ともに大越小6年)が、県内男女12歳以下の福島県選抜チームに選ばれ、2月21と22日、あいづ総合体育館で開かれた「第3回 福島県U-12近県交流大会」に出場しました。

大会には福島、山形、新潟、埼玉県などの男女各選抜6チームが参加し、佐藤さん(写真左)はキャプテン、白石さん(写真右)はポイントゲッターとして活躍しました。福島県選抜女子チームは第2位になり、バスケットボールを通じて他選手との交流も深めました。



ふるさとへの思い新たに



第26回東京ふねひき会総会が2月22日、東京のホテルラングウッドで開かれ、会員と市関係者の約150人が出席しました。

総会では会から市へ、田村市役所新庁舎落成・東京ふねひき会創立25周年記念モニュメントの目録が贈呈されました。

懇親会では懐かしい友との再会を喜び、思い出話に花を咲かせたり、ふるさと産品が当たる抽選会が行われたりと大いに盛り上がりました。ふるさと産品の販売も好評で、エゴマ加工品など全てが完売しました。最後は全員で「がんばっぺ、ふねひき」を三唱し、盛会のうちに閉会しました。

滝根の魅力を伝えるツアー



滝根町商工会(蒲生康博会長)が、復興庁の新しい東北先導モデル事業の取組の一つとなる「星と地底をめぐる体験ツアー」を実施しました。滝根町商工会やあぶくま観光ボランティアガイドの会などの役員や会員約20人がツアーガイドを務め、参加者はバスで、あぶくま洞や星の村天文台、入水鍾乳洞、星の村ふれあい館、天然水製造工場を巡りました。

ツアーは1月30日と2月11日の2回開かれ、美山小学校の5・6年生24人と、郡山市内の小学生と保護者20組が参加しました。参加者からは「ツアーの説明が分かりやすく、本当に楽しかった」などの感想が寄せられました。

ふるさと常葉への思いを語り合う

福島・常葉会主催の「ふるさと常葉会合同交流会」が2月8日、土湯温泉向瀧旅館で開かれ、来賓者、ふるさと常葉会・福島常葉会・ふるさと常葉交流会会員、市関係者40人が出席しました。

初めに白岩康夫福島常葉会長があいさつし、来賓祝辞の後、白岩常志ふるさと常葉会長、上田賢治ふるさと常葉交流会会長がスピーチしました。交流会では、渡辺勝子さんの踊りや歌で大いに盛り上がり、思い出話に花を咲かせました。福島常葉会の渡辺龍夫さんの手打ちそばも振る舞われ、楽しい時間を過ごしました。



ニュースポーツを楽しむ

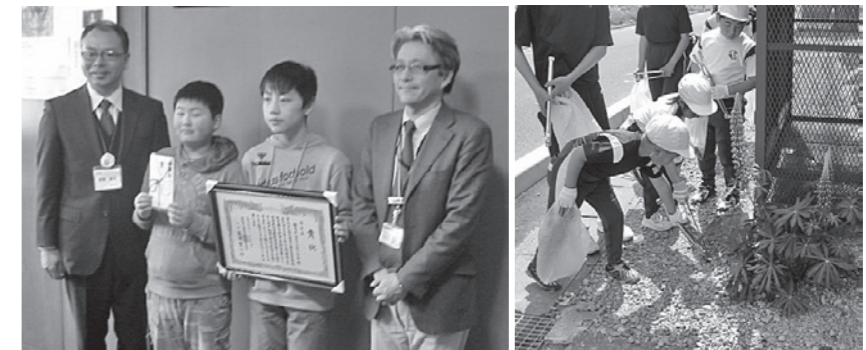
都路チャレンジ教室が2月15日、常葉体育館で開かれました。福島県レクリエーション協会の方に来ていただき、ニュースポーツのラダーゲッターやドッジビーなどを行いました。

参加した児童は、初めてのラダーゲッター体験でしたが、すぐにコツをつかみ上手に梯子に引っ掛けられることができ、楽しく活動することができました。



緑小が、環境美化教育優良校

緑小学校が、食品容器環境美化協会の主催する環境緑化教育優良校等表彰事業で優良校を受賞しました。2月17日に同協会福島地方連絡会議の野崎氏が同校を訪れ、代表児童に表彰状と副賞を手渡しました。



この事業は、地域社会と連携しながら環境美化教育に継続して取り組み、公共の場所の美化や飲料あき容器などのリサイクルを実践して、地域の環境美化に大きく寄与している全国の小・中学校を表彰するものです。緑小学校では毎年、移中学校と協力して全校生が通学路の美化活動に取り組んでおり、その活動成果を学習発表会で報告し、地域にも環境美化の大切さを呼び掛けています。

カローリングを楽しむ



滝根公民館で「冬の体力づくりニュースポーツ体験教室」が2月19日と26日に開かれました。15人の参加者は、カローリングを室内向けにしたニュースポーツのカローリングを体験しました。19日にルールなどの説明を受けて練習し、26日にはチーム分けしてリーグ戦形式の試合を行いました。曲がりながらも進んでゆくストーンに、一同歓声を上げながら楽しみました。

思いを込めたチョコ作り



常葉公民館の成人講座「お菓子づくり教室(バレンタイン向け)」が2月11日、文化の館で行われました。午前と午後の2回の教室に21人が参加し、遠藤とく子さんの指導を受けながら、ガトーショコラとアーモンドチョコを作りました。

受講生は、おいしく食べてもらえることを思い描きながら一生懸命心を込めて作りました。届けこの思い!